



vol. 1414 2024.1.22

卓話『2600地区会員増強と現況と今後について』 金児 進様

『新会員卓話』 山岸卓三郎会員

担当:職業奉仕委員会

◆会長挨拶

今期エコーでは会員増強を星野委員長にご尽力頂き、前年度に決まった方を含めて3名の方の入が決まっています。皆様からのご紹介本当にありがとうございます。現在48名の会員ですが、この人数はクラブの通常の事業に加え、来期に向けて準備が始まっている35周年の事業、ガバナー補佐を支える事務局やIMの準備を行うこの特別な年であっても、それぞれが役回りを分担して、同時に進行が出来る本当に理想的なメンバー数だと感じています。今期まだ残り半分ありますので、更にもう一人、二人、新しい仲間を募って来期に繋げていければと思います。本日の卓話でも会員増強について更に勉強をしたいと思います。また本日は新会員の山岸さんの卓話もご紹介します。よろしくお願いたします。

さて二十四節気の大寒が過ぎました。この週末も心配された雪ではなく雨になりました。諏訪湖でも待ち望んでいる御神渡りどころか、まだ全面結氷すらない状況です。庭を見てももうフキノトウが顔を出しはじめました。地球温暖化の影響なのか季節の変化を感じます。このあと春の二十四節気は立春、雨水、啓蟄、春分、清明、穀雨と続いていきます。啓蟄は3月ですが、この調子だと虫たちも早く目覚めてしまうのではないのでしょうか。昨年も11月というのに夏日があたり、日本古来の二十四節気の言葉が表す季節感と実際の気候とがずれてきたようで心配に思います。

2月のIMには多くの方のエントリーありがとうございました。先週の会長幹事会でも、実行委員長から楽しみに来て下さいと再度ご案内がありました。来年度の勉強を兼ねて賑やかに参加したいと思います。また茅野クラブさんではIMの場で新しく作ったクラブの歌をご披露するとのこと。きっとエコー賛歌から刺激を受けたのではないのでしょうか。

諏訪グループの来期の山崎さんの次のガバナー補佐が決定しましたので報告いたします。諏訪大社RCの高山猛英様(76歳、株式会社高山製粉代表取締役)です。

最後にもう一つお知らせですが、今期支援をした中央アルプスライチョウ復活作戦の特別講演が千畳敷カールのお膝元の宮田村村民会館で今月28日(日)に開催されます。35周年の記念事業でお世話になりました中村浩志国際鳥類研究所の代表理事中村浩志さんや環境省の小林篤さん方が講演をされます。これまでの努力で中央アルプスのライチョウは復活してきたとして、これから将来に向けたお話をされるようです。駒ヶ根の地元グルメソースかつ丼を食べがてら、ぜひお出かけ頂ければと思います。

◆ゲスト

信州友愛ロータリークラブ 地区会員増強委員会委員長・RI委員 金児進様

◆米山功労者表彰 河西明会長(米山功労者2回)



◆幹事報告

- ・次回理事会 2月5日 例会終了後開催
- ・1月17日 諏訪グループ 会長幹事会 河西会長・吉池幹事 山崎次年度ガバナー補佐・事務局幹事 河西一彦会員・事務局長 宮坂邦彦会員 計5名出席
- ※トライアスロン6月23日開催(諏訪RC事業) ※寄付は個人で

◆委員会・同好会報告

《親睦家族委員会》

- ・3月11日 2クラブ合同夜間例会 18:00受付 18:30点鐘
- ・5月11日 富士宮西RC合同家族例会 ※人数把握のため第1次メ切1月31日

《公共イメージ向上委員会》

- ・1月ロータリーの友紹介 P7 ~ 職業奉仕についての特集 P11四つのテスト(原文)
- ・デジタル版 閲覧用クラブID問合せは事務局まで

《社会奉仕委員会》

- ・1月27日(土)第274回 今期最終「自然の玉手箱」川岸地区散策・学校(昼食)まとめの会
- ※昼食はクラブ用意

◆卓話

- ◆2600地区会員増強と現況と今後について 金児進様
今年度RI第2600地区会員増強委員長を拝命いたしました信州友愛ロータリークラブの金児 進と申します。どうぞ、よろしくお願い申し上げます。



「会員増強」という言葉を皆さんはどのように捉えていますでしょうか。「会員を増やすことが目的」と多くの方が認識されています。しかし、私は、会員増強は会員を増やす事の意味は「結果」だと考えております。つまり、その前にやらなければならない行動計画があると思っています。それは「D・E・I」に基づくクラブと会員基盤の強化が一丁目一番地であり、これを成し得ないと決して会員は増えてくはないはずで

す。ロータリーの歴史は時代の変遷と共に大きく変化してきました。かつての確固たるロータリーステータスは殆ど消えたにも関わらず未だにロータリーのあるべき姿を幻想している私たちが居るということに気づかなければなりません。

もはやそのステータスは過去のものであり、これからは、私たちの努力によって新しいロータリーを形成していく必要があるわけです。それには覚悟が要ります。変化に対応する覚悟が皆さんの中にあればクラブはさらに長く維持継続していくはずで

す。ロータリーは多様性を推奨することで、基盤であった「職業奉仕」から多岐への奉仕施策に転換してきました。もはや職業人だけの集まりだけではなく、多様な考えを持つ人々の集まりになったといっても過言ではありません。

さて、ロータリーへの勧誘ですが、私は最初に口にするのは「ロータリーに入会してください」と誘います。決してクラブに入会して欲しいとは言いません。それは、クラブという単一的な組織ではなく、世界にシェアを持つ国際ロータリーの一員になって欲しいからです。もちろん、クラブは国際ロータリーの構成員です。それ故にクラブはしっかりした国際ロータリーのDNAを持っていなければなりません。つまりロータリアンであるということは、クラブと共に自身にロータリーの理念と目的を常に持ち続けることにあります。

クラブ基盤と会員基盤の強化は必須事項です。そのためには、現状の会員数に見合ったクラブ運営が必要です。組織である以上、運営に関する業務は責務として捉えなければなりません。そして、クラブ基盤の強化を前提としての会員数の維持が主目的となります。まず、会員がクラブに対して、ロータリーに対して愛着を持ち、しっかりした意識（モチベーション・スキル）を持って頂くことが必要不可欠です。

インクルーシブで居心地の良いクラブには必ず多くの人が集まるという明快な言葉を信じて素晴らしいロータリアン同志の絆を繋げていきたいと考えています。

ロータリーでは多くの体験の機会が用意されています。まず私たち自身が積極的になれば、ダイナミックなロータリーの世界が見えてきます。

◆新入会員卓話 山岸卓三郎会員

7月より入会させていただきました、山岸です。

私は昭和56年の6月18日 生まれ、6人兄弟の末っ子です。家族構成は妻、娘、息子の4人家族です。東海大第三高等学校から、東海大学を卒業し、山岸建設に勤務しました。

私の生活の中で、自慢できるものはないですが、唯一、やり切ったことは、諏訪圏青年会議所でした。幸せなことに、理事長までやらせていただきました。

私の自己紹介はこれぐらいにしておいて、会社の話をしていきたいと思います。

私が働いている山岸建設は、名のごとく、総合建設業です。建物、土木、改修リフォームなど、想像通りの会社です。山岸建設歴史を話していきたいと思っています。山岸家は、明治時代に、伊那の美簗から岡谷（旧平野村）に移住してきました。私のひいじいさんが、山岸石材を創業しました。この辺で言うと、中央印刷様の記念碑石碑、旧岡谷市役所のところにある尾澤福太郎像の台座部分の狛犬の台座部分、豊川稲荷の総門に入っていった左にある石灯籠などがあります。

石材から木材へ

この写真を見ると、大きな石を設置するために、木材で作ったやぐらが見えます。この時から、大工の手伝いや、足場をくんだりしていたそうです。ここで、木材屋に転換してきました。この仕事を行ううち、自分たちでも建てると、建設会社に転換しました。

建設会社になり、今年で74期目 地域の皆様に愛され続けられるように、人との繋がりを大事にし、会社も時代に合った変化をしていきたいと思っています。

自分たちだけじゃなく、この地域が良くなるように、地域に奉仕していくことが大事だと思っています。



ラッキーナンバー・ニコニコBOX・出席報告

■ラッキー No.86 長田 香会員

ニコニコするメッセージをお寄せ下さい

■ニコニコBOX 66,000円

■出席報告

会員数 48名 出席 37名 欠席 11名

出席率 78.72% 訂正 80.85%

今週のプログラム 1月29日(月) PM0:30

マリオ/卓話 岡谷南高校発表 青少年奉仕

次週のプログラム 2月5日(月) PM0:30

マリオ/自然の玉手箱まとめ 社会奉仕委員会